巻頭論文

昇降機の現状と将来展望

地球温暖化防止等の環境問題，IT化を始めとする技術革新，高福祉社会の進展に代表されるように，21世紀の社会環境は大きく変わりつつある。また，現在昇降機を取り巻く環境は，全世界レベルでの合従連衡，しのぎを削る新技術・新製品開発競争，規格のグローバルスタンダード化等，急速かつダイナミックに変化している。

三菱電機は，三菱昇降機のグローバル スローガン“Quality in Motion”を新たに策定して，この変化の時代においても三菱昇降機の“品質第一”の考え方を不変にするとともに，環境に優しく，信頼性にも優れ，お客様に乗りやすく，使いやすい快適な昇降機の提供を目指している。

さらに，将来に目を向けると，昇降機は，ビル内の移動手段ではなく，都市空間の交通システムとして形態を変えていく。都市空間は，情報通信網の発達とともに情報化が更に高度に進み，同時に人間性の尊重，自然環境との共生は更に重要性を増す。そのような環境下で，昇降機は，ビル内の情報通信機能，セキュリティ機能とも連携し，垂直・水平方向に有機的につながったビル内を効率的に移動する空間となる。当社は，このような未来の交通システムの実現を目指し，テクノロジーの追求に取り組んでいる。

本稿では，昇降機の市場動向・技術動向を紹介し，21世紀の昇降機の方向を探るとともに，昇降機の将来展望について述べる。

桑原 保＊　＊稲沢製作所長